

平成25年度 佐渡市教育課程部会 活動報告

部長 池野 淳

1 研究主題

講演等をとおして、学校の教育課題への取組について研修し、教務主任の職務の自覚と力量を高める。

2 研究の概要

(1) 研修内容

① 情報交換 (60分)

学校規模によって、教務主任の業務内容も異なる。そこで、学校希望に応じて、2グループを編成し、情報交換を行った。情報交換の大まかな内容は、記録者が全体に発表し、共有を図る。

情報交換での共通の話題として、今年度は、「防災教育」を取り上げた。これは、「平成25年度学校教育の努力事項」「防災教育」「危機回避能力の育成」を受け、各校の避難訓練の計画の修正や改善のための情報を共有するためである。

② 講演 (60分間)

「学校運営と教務主任の役割」と題し、佐渡市内に勤務されている教頭先生からご講演をいただいた。

指導者 佐渡市立七浦小学校 教頭 大竹 正宏 様

3 成果と課題

(1) 成果

情報交換については、他校の取組や問題点等を知ることができた。佐渡の特有の地理的要因から、「地震・津波」を想定した避難訓練では、「一次避難場所」からより標高の高い「二次避難場所」の設定やそこまでの経路を確認する必要性を感じた。また、「緊急時の保護者との連絡のとり方」(緊急メール配信等)「保護者への引き渡し訓練」実施に向けて、保護者との連絡体制や方法などが話題に挙げられた。研修会参加者のアンケートには、「各校の取組が分かり、自校に戻り、担当者に伝えたい」「教務主任として、危機意識が低いことを自覚した」などの記述が見られた。防災教育担当者への適切な助言をする教務主任として、多くの情報を共有することができた。



講話については、例年好評である。それは、以前に大規模校で勤務された「教務主任」当時の経験・体験談を聞くことができるからである。今回は、教務主任の基本となる4つの力「気付き力」「段取り力」「根回し力」「見通し力」、課題対応力を高める8つの力「観察力」「分析力」「整理力」「傾聴力」「説得力」「実行力」「鳥瞰力」「提案力」を示していただいた。また、「ストレスとうまく付き合う」ためのストレス解消法についても教えていただいた。

(2) 課題

情報交換については、タイムリーな話題ではあった。しかし、2学期以降に避難訓練を実施する学校もあり、情報収集のみとなった学校もあった。情報交換にする話題については、検討が必要である。